

読者のひろば



読者の皆様からいただいたお便りの中から、ご意見や情報などを紹介します。

朝

の登校時間や下校時間に大きなランドセルとたくさん荷物を持った小学生たちが、信号機のない横断歩道で車が止まるのを待っています。車を止めて渡り終わるのを待っていると、こちらに向かって振り返り一生懸命頭を下げてくれます。バタバタしていると焦って運転しがちですが、一旦止まって子どもたちの元気な姿を見ると、自然と心が落ち着き笑顔になります。日々心に余裕を持って、安全運転を心掛けたいですね。(おてんさん・女性)

横断歩道上で歩行者が犠牲になる痛ましい事故が後を絶ちません。また、横断歩道以外を横断している歩行者や自転車などが犠牲になる事故も多く発生しています。運転者も歩行者も交通ルールをしっかりとしながら常に周囲の状況に気を配り、危険を予知する「かもしれない運転」が重要です。運転手のゆとりが、子どもを事故から守ります。

特

集「子育てひとつながり」では「親」「地域」「学校」の連携で成り立つと、心からそう思います。鹿屋市は、子育て支援施設の充実、ファミサポ制度の充実がすばらしいと思います。私は子育ては終わりましたが、何か役に立つことがあればと考えます。(K・Tさん・女性)

時代の流れや便利グッズの開発などにより、子育てについての考え方も時代とともに変わってきています。しかし、子育てにおいて変わらずに大切にしなければならぬこともあります。それは、子どもを中心とした様々なつながりにより、愛を持つて育んでいくことです。家族や学校はもちろんのこと、地域での連携も非常に重要です。子育てを地域ぐるみでお手伝いする組織である「ファミリーサポート制度」の輪に多くの方々に入っていたいただき、子どもたちをみんなで見守っていきましょう。

7

月13日に県プラザで開催された「鹿屋市健康まつり」に参加させていただきました。血管年齢測定では、実年齢と全く同じ年齢という結果でした。普段の生活の見直しや適度な運動の継続、マイナスイオンを取る工夫などで病気の発症リスクを抑えるとのことでした。最近、病気の早期発見早期治療だけではなく、病気の予防が最重要とのことでした。家族全員で予防に取り組んでいきたいと思えます。(寺山レーザさん・男性)

県民健康プラザにおいて、21周年開設記念イベントと鹿屋市健康まつり、鹿屋市歯科医師会の口腔がん健診が同時開催され、多くの方々に足を運んでいただきました。鹿屋市健康まつりでは全身反応時間測定や足指力測定、血管年齢測定を行い、楽しみながら自分の体を確認する姿が見られました。超高齢社会となった日本では、健康寿命を延伸していくことが重要となっています。毎年9月は健康増進普及月間ですので、「1に運動、2に食事、しっかりと禁煙最後にクスリ」を合言葉に、簡単なことから皆さんで取り組んでみてはいかがでしょうか。また、病気の早期発見・早期治療のためにも年に1回の健診も忘れずに受診しましょう。

10

月に和牛共進会が鹿児島県であるとのこと。私の父も84歳で亡くなるまで、牛の生産をしていました。牛にエサをやるときの優しい顔が思い浮かびます。鹿屋農業高校の畜産同好会の皆さんが2頭の出品牛の育成に一生懸命取り組んでいるとのことでした。是非日本一の座を獲得してほしい、と心から応援しています。(トシチャンさん・女性)

和牛のオリンピックとも呼ばれる「全国和牛能力共進会(通称・全共)」。鹿児島県代表は、前回大会で団体優勝を勝ち取っており、今大会では連覇が期待されます。鹿屋農業高校は、今回の全共から新設された「高校及び農業大学の部」に出品できるよう日々励んでいます。全共において鹿屋農高生や市内畜産農家の皆さんの汗と涙と愛情の結晶が、その魅力を感じる存分発揮して優勝を勝ち取ることを祈るばかりです。

フォトネタ!



横山町の案内石碑

横山村の庄兵衛夫婦は孝子として、傳太郎は篤行者として有名でした。この度、その墓への案内石碑が移設され、田の神様とカカシも飾られています。